兄ちゃん

木村好子

青空文庫

吹きっさらしの田圃（たんぼ）には
もう、村の誰（たあれ）も出ていない
だのに、私の家では麦蒔きがすまない
取り入れ半ばに兄ちゃんが召集されて
あとに残った女手二つ
私とおっ母とであくせくと麦蒔き

毎日、朝早くから晩おそくまで
かたい刈株をうちかえし、うねをつくり
せっせと蒔きつけを急ぐ私達――
かよわい女手で、夕方、ぐったり疲れて家に帰れば
地主の奴が、がみがみ年貢を取りたてにやってくる

おお兄ちゃんが満州へ引ったてられて行ってから
急に、めっきりやつれたおっ母
老いさらぼけたそのやせ腕に

ふり上げる一鍬一鍬！
私の胸は戦争への憎しみを深める
勝っても、負けても、戦争が私達に楽な生活（くらし）をよこしはすまいに
働き盛りの貧農の息子を奪って
み国の為にと殺し合せるなんて……

あああの寒い満州でたたかう兄ちゃん！
兄ちゃんの身は無事かしら
私はおっ母をいたわりはげまし
兄ちゃんのかわりにせっせと働くけれども——
戦争への憎悪で、全身はわななく。

（『プロレタリア詩』一九三一年十二月号に発表）

青空文庫情報

底本：「日本プロレタリア文学集・39　プロレタリア詩集（二）」新日本出版社
　　1987（昭和62）年6月30日初版
底本の親本：「プロレタリア詩」
　　1931（昭和6）年12月号
初出：「プロレタリア詩」
　　1931（昭和6）年12月号
※××印を付してある文字は、底本編集部による伏字の復元です。
入力：坂本真一
校正：雪森
2015年7月7日作成
2015年8月29日修正
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

兄ちゃん

木村好子

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/